



全農長野県本部情報／グリーン レーダー Vol.458

Contents

A-Policy 重点事業方針

- ・農産物の需要動向に対応した農産物の生産を提案し、生産者の所得向上を図ります
- ・平成29年度 米穀課事業方針
- ・平成29年度 生産販売部 果実課事業方針

A-Reports

- ・平成29年度 長野県青果物・花き取引会議 5
- ・JA宅配推進担当者研修会 6
- ・日本の原風景「棚田の四季」完成披露会で小林県本部長が来賓代表挨拶 7
- ・「全農自己改革推進会議」開催される 7
- ・グループ会社紹介／株式会社 JAアグリエール長野 8
- ・新採用職員紹介 9

A-Board／

- 「第49回信州フラワーショーサマーセレクション」のご案内 9
- ・JA全農長野の事業現況 10
- ・7月の動き 10
- ・7月のラジオ番組表 10
- ・編集後記 10

JA長野県
営農センター農産物の需要動向に対応した
農産物の生産を提案し、
生産者の所得向上を図ります

JA長野県営農センターは、平成18年に長野中央会、長野信連、全農長野の共通機構として設置され、本年度で11年目の事業年度となりました。現在、営農企画、農業振興、担い手支援の3グループがあり、①営農技術員のスキルアップ ②新しい栽培方法の提案による農業所得向上 ③農業者の経営分析を通じた経営改善提案や新規就農者の受入れ支援などを行なっています。

1. 営農技術員のスキルアップ

平成28年度より「営農技術員サポートセンター」を営農企画グループ内に設置し、農業経営基礎研修など他の研修の事務局機能を集約しました。

同時に新任営農指導員を対象に「営農指導スタートアップ研修」と称

した年間カリキュラムを作成し、スキルアップに本格的に取り組んでいます。この研修では、年間のべ79日に亘り座学16講座と県試験場や農家での実習を受けていただき、毒劇物取扱者試験や簿記、フォークリフト等の資格取得も目指します。初年度は県内JAから12名の営農技術員が受講し、1月末の開校式で修了証を交付しました。今後、生産現場での活躍を期待しています。2年目の今年度も4月17日に開講式を行い、11名の営農技術員が受講中です。

既に生産現場で働いている営農技術員に向けては、更なる品目栽培知識の向上を目的に「野菜パワーアップ研修」「果樹ボトムアップ研修」を開きました。JAの大型化による営農技術員の分散配置などによりOJTが希薄になりがちな中で、県域が

リーダーシップをとり営農技術員のスキルアップを目指す一環としての活動で、29年度は「花き」のボトムアップ研修を予定しています。研修に加え、営農技術者会議のブロック活動を積極的にを行い、単位JAを超えた県内JAの技術員同志の交流を深め、課題解決や知識共有の場となっています。

2. 農業振興

「リンゴ高密度わい化栽培」「キャベツ・玉ねぎの機械化一貫栽培体系の実証実験」「アスパラガスの生産力向上対策」「業務用きゅうりの栽培指導」等を中心に取り組んでいます。

リンゴ高密度わい化栽培については、4月に「高密度わい化栽培研究会」を立ち上げ、県関係機関、JA（上伊那、みなみ信州、松本ハイランド、

あづみ、ながの）、当センターを構成メンバーとして、栽培技術の知識習得や現地視察での栽培技術の確認・検証をしています。また、JA出資法人におけるフェザー苗の生産にも力を入れており、28年度には2万本を生産しました。

キャベツ・玉ねぎの機械化一貫栽培体系の実証試験については、先進地である北海道と秋田県を視察し、長野県内の大規模生産法人などで収穫機械の実地利用をしながら、本県に合う機械の導入に向けて取り組んでいます。

「アスパラガス」「きゅうり」も含め、長野県産農産物はマーケットから求められており、生産拡大を図る必要があります。農業後継者の減少による農産物の生産力低下が叫ばれて久しい中ですが、視点を変えれば「やれば稼げる」ということだと捉えています。

ここまで示した新しい栽培方法の導入により、農作業の効率化や収量の向上を図り、ひいては生産者の農業所得につなげることを目指しています。

3. JA管内法人・農家の経営分析や改善提案の支援活動

県内JAや県と共に、JA管内法人農家の経営分析や改善提案の支援活動をしています。経営分析のツールとして、らくらくWeb農業簿記や経営分析システムを推進し、農業経営の見える化を進めています。JAごとの販売データを活用し、ABC分析手法により農業生産基盤を数値として把握し、JAと共有する中で、今後のJA活動の方向について検討会を開催しています。また、「担い手アンケート」を実施し、組合員から見たJAごとの課題を抽出し、組合員対応力の向上を支援しています。

このように、当センターは農業生産現場、JAの組合員窓口との接点に直接出向き、JAと共に「農家が農業で飯を食える」よう取り組みを進めています。



5月18日～19日「高密度わい化研究会」の様子



4月19日に開催したJA営農農政担当部課長会議の様子

米穀課

平成29年度 米穀課事業方針

基本方針

平成30年の米政策の転換を見据えた最終年度として、ＪＡグループが主体となる生産・集荷・販売の一貫した米穀事業を構築し事業展開を進めます。

平成29年度の重点推進事項

(1)平成29年度米集荷推進

- ①長野県本部米穀事業基盤強化対策を有効活用し、ＪＡ別集荷目標に向けて集荷数量の積み上げを推進します。
- ②平成29年度米の系統集荷促進になるよう概算金を設定します。
- ③平成29年度より導入の新規フレコンの検証を進めます。
- (2)29年度米販売推進
- ①情報収集により29年度販売状況を見極めて収穫前契約の積み上げに努め、また卸売会社・実需者との連携のもと複数年契約の拡大を進めます。
- ②卸売会社・実需者との連携強化による新米販売を推進します。また、3月末販売進捗50%を目標に早期

販売に努め、販売経費の削減を図ります。

- ③4年目となる「風さやか」については県内を中心に販売推進を図り、酒造好適米については計画生産を進め、日本酒の需要拡大を通じた拡販を図ります。
- ④産地と連携し日本穀物検定協会の食味ランキング「特A」獲得を目指します。
- ⑤県内を中心に各種メディア活用やキャンペーンを積極的に展開し、「長野米」の認知度向上と消費宣伝活動に取り組みます。
- ⑥重点卸売会社と連携し長野米の輸出について継続します。
- (3)平成30年問題への対応
- ①30年米政策転換を見据え、米穀プロジェクトの結果を実行に移します。
- ②29年度米の出荷契約をもとにＪＡ別・銘柄別の契約状況や販売進度・重点卸・実需者の要望等を考慮し、30年度米の生産販売計画を策定します。
- ③30年度米からの買取販売の仕組みの構築を進めます。

④酒造好適米・もち米・加工用米・備蓄米の買取販売手法についても検討します。

(4)長野米の生産性向上・品質向上・安全安心への取り組み

- ①関係機関と連携し、多収穫栽培試験を実施し、業務用適性米生産の検証を行います。
- ②全農長野農産物検査室での品質調査を実施し、調査結果を有効活用し品質向上につなげます。
- ③異物の混入防止を徹底します。
- ④残留農薬・ヒ素・カドミウムの化学分析検査とDNA検査を行い、安全・安心の検証に引き続き取り組みます。
- (5)農産物検査業務
- ①基礎講習・鑑定講習・技能確認会の開催を通じ、農産物検査員の技術向上に取り組みます。
- ②長野県本部米穀事業基盤強化対策を活用し、農産物検査員の育成と支援を行います。
- ③農産物検査法・業務規程



JR長野駅ホームの長野米看板

に基づき、適正な農産物検査業務に向けた指導を行います。

(6)麦・大豆・そば・農産物種子

- ①小麦は「シラネコムギ」「ゆめきり」の代替品種は慎重に検討を進め、大麦は「ホワイトファイバー」「シユンライ」の需要に応じた品種誘導を進めます。
- ②大豆は「ナカセンナリ」を主体に生産推進と実需者への営業活動を進め、そばは播種前契約の推進を図ります。
- ③優良種子供給体制を構築と主要農作物種子法廃止への対応を進めます。

平成29年度米穀課事業計画						単位：千円	
大品目	29年度計画	28年度計画	28年度実績	前年計画対比	前年実績対比		
主食うるち米	15,145,252	14,469,434	13,504,910	105%	112%		
酒造好適米	930,616	1,015,622	997,518	92%	93%		
加工用米	406,358	381,750	322,699	106%	126%		
米麦種子（購買）	646,744	576,560	658,459	112%	98%		
その他	2,021,030	1,866,634	1,981,231	108%	102%		
合計	19,150,000	18,310,000	17,464,817	105%	110%		

果実課

平成29年度 生産販売部 果実課事業方針

〔平成28年度の経過〕

平成28年度の生育は、一昨年に次ぐ前進した年となり、全ての果実で平年より7日程度各ステージが早まりました。しかし、4月の凍霜害、夏場の高温干ばつ、9月の長雨曇天、度重なる台風の襲来は生産量に大きく影響し、特に晩生種リンゴの集荷量は昨年比70%程度まで減少する結果となりました。販売面では、競合各県との情報連携を深め、計画的な出荷販売に努めた結果、各品目ともに安

定した価格実績となりました。特に近年、ブドウ類では、巨峰からシャインマスカットやナガノパールへの品種更新が急速に進んだ結果、ブドウ金額実績では昨年を更に上回る117億円(前年比113%)の好結果となり、本会実績統計上始めてリンゴを上回る実績となりました。今後は、特にリンゴ高密度植わい化栽培の普及による早期多収、ふじとリンゴ長果25(シナノリップ)導入によるリンゴ産業再構築、集荷率向上対策

が課題となりました。

〔平成29年度事業方針〕

重点取組事項

- (1)長野県果樹産地の再構築を進め、農家経営の安定を図ります。
- (2)現場主義に立脚した果実事業の展開を目指します。
- (3)計画生産・出荷への取組みを強化します。
- (4)安全・安心果実の生産供給体制を確立します。
- (5)消費拡大に向けた対策を強化します。

中期3カ年計画に基づく果実事業実施計画(具体策)

- (1)生産基盤の維持・拡大
- ①長野県営農センターと連携した、リンゴフェザー苗の安定生産供給を進めます。
- ②リンゴ高密度植わい化栽培推進のグループ作りを進めます。
- ③果樹農業好循環形成総合対策事業の活用により、リンゴの需給調整及び優良品種への切り換えを進めます



導入を進めているリンゴ長果25(シナノリップ)

(2)集荷対策の向上

- ①多様な生産者への販売企画提案を進めます。
- ②ＪＡ間連携による効率的施設運用のバックアップを進めます。
- (3)販売力の強化
- ①取引卸売市場の精査と見直しを行い、出荷先の重点化を進めます。
- ②出荷規格の簡素化に向けた取引提案の試行を進めます。

(4)商品提供力の強化

- ①MCP等を利用した、リンゴ長期冷蔵販売の拡大を進めます。
- ②加工・業務用需要へ対応した、新規栽培園地の開拓を進めます。
- ③国内需給の調整を進め、メリツトある輸取出引きを計画的に推進します。



高密度植わい化栽培の圃場

県産ブランド販売強化へ主要取引会社と情報交換

平成29年度

長野県青果物・花き取引会議

全農長野県本部生産販売部は6月1日(木)、長野市内で青果物・花き取引会議を開催しました。県内2社を含む青果・花きの主力卸売会社23社の代表、長野県から阿部守一知事、中島恵理副知事、北原富裕農政部長ほか農政部関係者、JA側からは全農長野県本部の雨宮勇運営委員会会長、豊田実同副会長、小林哲男県本部長、県内JA組合長・理事長など、総勢90名が出席しました。

この会議は、長野県産ブランドの販売強化と農家の手取り安定を進めるため、卸売会社との強いパートナーシップを構築し、実需者への対応力を強化することを目的に毎年同時期に開催しています。

雨宮会長は主催者挨拶の中で「JA全農長野は本年度の取扱目標を1,596億円に設定しました。実需者ニーズに合わせた商品開発にも取り組んで参ります。主要卸売会社の皆様とは一心同体の関係です。本年度もよろしくお願いします」と述べました。長野県の阿部知事は来賓挨拶で「策定中

の県総合計画でも農業・農村地域の活性化は重要な柱です。県産農産物の流通の根幹におられる皆様方のバックアップは欠かせない関係です」と本会に期待を寄せられました。

県農政部の北原部長からは、消費者や流通の変化を的確にとらえた農畜産物生産の観点から県農政の展開方向について説明がありました。

全農長野県本部は今年度の取り扱い計画や生産販売の重点方針、生産者の所得増大に向け、生産基盤、集出荷体制、販売力(営業力)を強化し、県産農産物の売り場拡大、信州ブランドの信頼強化を図ることなどの方針説明を行いました。

卸売会社からの提言では、東京青果(株)の川田一光社長より「規制改革推進会議の考え方のように、高いものが売れる方向性のみを求めるのは、消費面が見えていないのではないかと。消費者が欲しいものを作り、売る。その中で価格が決定し、産地と卸の連携が強固なものになり、商流が生まれるのでは」と述べられました。



長野県連合青果(株)の堀雄一社長は「長野県の果樹王国復活に期待します。信州の気候風土は、味の良い果物生産に欠かせない優位点で、長期間出荷できる点にも恵まれています。高齢化や技術継承面の不安など課題を乗り越え、近代的な生産体制を構築してほしい」と提言されました。

「海外でも、日本の花は世界一との評価が高い。こうした事実を国内でアピールすることが大切です。それが国内生産者を力づける。生産量を増やすことにもつながる」と指摘されました。なお、会議に先立ち本年度の取引が最大に行われるよう、善光寺大本願にて商売繁盛を祈願しました。



会議の座長を務める小林県本部長



主催者代表挨拶をする雨宮会長

宅配商品の知識向上と推進目標の達成を

JA宅配推進担当者研修会

長野県農協生活事業推進協議会生活専門部会生活購買研究会は5月23日(火)、JA宅配推進担当者を対象に推進者研修会を開催しました。県下JAの関係職員23名が参加し、宅配商品の知識向上や広域宅配センターの取り組み内容について理解を深めてもらうと共に、推進目標の達成に向けてJAの取組事例を紹介しました。

研修では、組合員の皆様にまごころ宅配の良さを伝えられるように、商品お届けの仕組みやおまかせメニュー取扱商品の選定基準を確認しました。

まごころ宅配の特徴をよりわかりやすく組合員の方にお伝えできるよう、今回は、29年度版のデモブック(宅配加入促進の際に関係資料を入れて活用するファイルブック)を用意しました。参加されたJA職員から「高齢の方に簡単に説明できるものを考案できないか」という意見に対する解決策としても、効果的に活用できるツールの一つになると思われます。また、より多くの方に利用を広げるため、今年も「おためしキャンペーン」「新規成約値引きキャンペーン」「ご利用者紹介運動」の3つのキャンペーンを展開します。



まごころ宅配の説明を受けるJA宅配推進担当者

安心 安全 健康 便利

JAまごころ宅配のご案内

～毎日の生活に必要な新鮮食品をお届けします!!～

県内産中心のフレッシュ肉

低添加・無添加商品の選りすぐり

JAオリジナルエコーマーク品

お届け品をおまかせコース

新鮮品を組み合わせてお届けし、毎週注文する手間がいりません。

アレンジメニュー

おまかせ

素材や付け方をご希望されるご家庭に。

肉や魚などの素材や付け品、簡単調理品などをお届け。

※2人用25,000円(税込)

お手軽

簡単に調理をご希望されるご家庭に。

簡単に調理できる品を中心に素材や付け品などをお届け。

※2人用22,000円(税込)

いきいき

調理に不安のあるご家庭に。

そのまま食べられるものや、温めただけなどの食品を中心にお届け。

※2人用10,800円(税込)

商品ごと「増やす」「取りけす」ができてオススメです!

テラシから選べるコース

毎週お届けするテラシからお好きなものを追加いただけます。

まずはお気軽に、おためしセット(2回分無料)をご利用ください!

おまかせコース(2回)のお届け商品と調理例

月・火・水曜日

お届け商品例

- 信州産コース肉(鶏肉)
- 無添加ソーセージ
- おまかせ肉類
- おまかせ魚類
- おまかせ野菜
- おまかせ調味料

お申込みからお届けまでの流れ

1.お申込み

2.お申し込みからお届けまでの流れ

3.お届け

4.お申し込みからお届けまでの流れ

まごころ宅配の仕組みを紹介したリーフレット

プレナス米文化継承事業

「日本の原風景」棚田の四季」完成披露会

小林県本部長が来賓代表挨拶

5月31日(水)、長野県の重点実需者である株式会社プレナス（本社／福岡市博多区、代表取締役社長／塩井辰男様）の「米文化継承事業」として、細川護熙元首相が描いた巨大壁画の墨絵「四季の棚田」完成披露レセプションが東京・青山で催され、取引先、農林水産省、各国大使など200名が出席しました。

長野米は、プレナスが運営する持ち帰り弁当の「ほっともつと」、定食レストランの「やよい軒」で使われており、今回美しい棚田を持つ長野県を代表して全農長野県本部の小林哲男県本部長に来賓代表としての挨拶の依頼をいただきました。小林県本部長は、プレナスは、単なる米の取り扱いに終始する実需ではなく、日本の食文化も包み込んだお米へのこだわりをもつて事業展開される実需者であります。長野県本部としては、その考えに共鳴しつつ、今後ともプレナスとの取引を



に対し、微力ながら力を尽くして参りたいと思います」と挨拶をしました。日本の米の生産量の0.5%にあたる約4万トンを、食事を通して提供している同社では、ごはんを主食とした日本の食文化を世界に広げ、さらに米文化の魅力を伝えるため、食文化の継承活動をしています。この文化事業のシンボルとなる巨大壁画は高さ8.5m、四方20mの壁を囲む壁画で、細川護熙氏により3年を掛けて制作されました。更にプレナスでは米文化継承事業の次企画として、現在BBCアース撮影の映像発信「日本の米文化(仮称)」の日本語版を現在製作中とのことです。

「全農自己改革推進会議」開催される

6月19日(月)JAビルにおいて、全農長野県本部の正副本部長、各部長・事業所長、本所課長およびグループ会社社長の計46名が出席し、「全農自己改革推進会議」が開催されました。成清「臣理事長より「全農自己改革について」と題して、「農業競争力強化プログラム」および「農林水産・地域の活力創造プラン」に対する全農としての対応等の講話があり、「①会員・組合員から支持されるかけがえのない存在、②会員・組合員の立場に立つて社会に発信し続ける組織になる」とした基本姿勢が示されました。その後の質疑応答のなかでは、肥料・米穀・青果物の各部門より県域の流通実態を踏まえた質問が出され、活発な討論が行われました。

現在、県本部においては、中期事業計画の実践に加え、長野県に相応しい自己改革強化策の策定をすすめています。今後、JAとの協議を重ね、役職員一丸となりスピード感をもって実践してまいります。



成清理事長に質問をする生産販売部小澤部長



自己改革について説明をする成清理事長

グループ会社紹介

株式会社JAアグリエール長野

●各事業部の紹介

『肥料事業部』

農業生産の必須資材である肥料の製造並びに供給を通じて長野県農業の発展に貢献することを目的とし、安価で質の高いBB肥料の製造を行っております。昨今の高齢化による農業人口の減少・減肥化傾向等の影響から肥料の需要減が続いていますが、全農長野県本部と一体的な事業展開を行い、BB肥料の特徴を活かし土壌診断に基づく低成分銘柄や施肥省力型肥料の開発及び大規模農家への「わたしの肥料」の推進を進め、農家組合員の負託に応えるべく機能発揮に努めます。

『物流事業部』

県下に1課1室6営業所を配し、農畜産物の全国配送と農家組合員への農業用生産資材やLPガスの配送、また廃プラの収集運搬、肥料農薬等園芸資材の保管管理なども行い県下JAの物流を担当しています。今後も農薬、ピッキングの拡大等、JAに密着した事業

を進め、法令を遵守し系統組織内における安心・安全な物流体制を確立するとともに効率化を図りJAの経済事業改革に貢献すべく努めて参ります。

『企画管理部』

企画管理部においては、経理・人事・総務・情報システム等、管理業務全般を担っております。コンプライアンス遵守の徹底を図りながら、現業部門を支援し健全な会社運営がなされるよう努めています。また、事業・技術継続のための人材育成に努め社内外への広報活動強化を図っております。

●社長あいさつ

当社は平成22年4月1日に、長野県JAグループの物流を担う(株)くみあい運輸とBB肥料製造を行う長野県農協肥料(株)が合併し、株式会社JAアグリエール長野としてスタートいたしました。社名は「全力で長野県農業(アグリ)を応援(エール)しよう」と社員からの公募により決められました。系統組織を取り巻く環境は、一層の

不透明感が増している中でJAグループ会社においても更なる機能の発揮が求められています。こうした中で、『株式会社JAアグリエール長野は「安全・安心・信頼」をモットーに農産物生産・流通および肥料製造を通じてJA経済事業補完機能の発揮に努め農家組合員の営農と生活に貢献します。』を企業理念とし、県域生産・物流会社として農家組合員の生産流通コスト削減に資するとともに、強固な経営基盤を確立するため社員一丸となり事業に邁進して参ります。



BB肥料工場（肥料事業部）



4月より新たに仲間となった新入社員です



冷凍イング車両（物流事業部）

7月の動き▶

総務広報課	7/29(土)	松本山雅FCホームゲーム・スイカPRイベント アルウィン
JA長野県 営農センター	7/6(木)	営農農政・生産販売担当常勤・部長合同会議 JA中信会館
生産販売 企画課	7/15(土)～ 8/31(木)	JA全農長野withJA松本ハイランド 信州農産物でGET!キャンペーン 〔信州ミツ山マーク〕3枚、またはJA松本ハイランド産スイカシール1枚を1口として応募していただき、抽選で松本山雅観戦チケットなどが当たります。
	7/2・9・16 ・23・30(日)	信州長野から届いた旬のフルーツ・野菜プレゼント 東京駅 対象日に東京駅・京葉ストリートで800円以上お買い上げいただき、クイズに正解されたお客様に抽選で、旬のフルーツ・野菜をプレゼントします。
生産販売 企画課 JA長野県 農産物PR協議会	7/19(水)	「農から楽しむ食の世界～きのご編」 信学会小諸野岸幼稚園
	7/19(水)～ 7/20(木)	長野県生活協同組合連合会連携 食育活動「大学生協ランチ」食材提供
	7/29(土)	肉フェス軽井沢2017 軽井沢プリンスショッピングプラザ
果実課	7/6(木)～ 7/7(金)	JR東日本「朝採れ新幹線マルシェ」 ブルーベリー、あんず、プラム販売 JR東京駅・丸の内地下 動輪の広場前
野菜花き課	実施中～ 8/17(木)	夏野菜キャンペーン
	7/1(土)	産地応援一斉宣伝会 東京、名古屋、大阪
	7/20(木)～ 7/21(金)	信州フラワーショーサマーセレクション JA長野県ビル・アクティーホール
きのご課	実施中～ 8/31(木)	きのことお肉で時短レシビキャンペーン
農業機械課	7/14(金)～ 7/15(土)	JA農機&資材フェスタ 長野市・エムウェーブ ※詳細は裏表紙をご覧ください。
酪農課	7/29(土)	牛乳・乳製品利用料理コンクール 実演審査・表彰式
SS協同経営課	7/1(土)～ 7/31(月)	2017スマイルサマーキャンペーン 協同経営SSでポイントを貯めると、ステキな賞品をプレゼントします

7月のラジオ番組表▶

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
7/4(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	牛乳セミナーの様子①
7/6(木) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりで内「ラジオカーレポート」	プラム
7/11(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	牛乳セミナーの様子②
7/13(木) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりで内「ラジオカーレポート」	レタスなどの夏野菜
7/18(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	乳和食レシピ紹介
7/20(木) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりで内「ラジオカーレポート」	「信州フラワーショー」レポート
7/25(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	牛乳クイズ
7/26(水) 11:50	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりで内「暮らしの応援団」	夏野菜キャンペーン告知
7/27(木) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりで内「ラジオカーレポート」	スイカ
7/3・10・17・ 24・31(月)	FM長野	JA全農長野「発見!ながののゲンキ!みらいのミカタ」	セルリー(JA信州諏訪) 17日のみ信州フラワーショー告知



(K)

さて、もうすぐ7月です。梅雨があければ本格的な夏もすぐです。薄着になりますし、室内と外の温度差も大きくなつてきます、皆さん体調管理には充分お気をつけください。

家の近所の小学校で運動会がありました。最近のは5月～6月が運動会のシーズンになっているようです。梅雨の前で気温もそれほど高くないので確かに子供達にはいいですね。でも運動会Ⅱ秋のイメージがある私には、なにか違和感を感じます。私だけでしょうか・・・

編集後記

JA全農長野の事業現況▶

平成29年度5月末部門別実績表 (単位:百万円,%)

部門	区分	実績	計画比	前年比
米	穀	2,679	92	95
果	実	312	133	99
野菜花き		3,885	110	82
野菜種苗センター		59	97	93
きのこ		2,474	101	96
営業		970	82	88
生産販売部計		10,379	100	89
包装資材		895	91	95
生産資材		3,021	120	114
農業機械		1,551	110	112
施設住宅		1,308	108	185
生産購買部計		6,774	111	119
畜産		2,421	123	104
三岳牧場		60	125	121
SPF繁殖センター		41	88	85
酪農		2,806	108	95
八ヶ岳牧場		48	95	103
畜産酪農部計		5,376	114	99
燃料・ホームエネルギー		3,866	121	115
SS協同経営		1,866	131	123
生活		2,273	108	99
生活部計		8,006	119	112
長野県本部計		30,535	109	102

(内部販売高含む)

新採用職員紹介

【生産購買部 生産資材課

JAファームセンター 浅岡 真太】

はじめまして。生産資材課JAファームセンターの浅岡真太と申します。出身は小布施町で、実家では牛を飼っています。小学校からバレーボールを続けており、体を動かすことが好きです。まだわからないことばかりですが、少しでも早く業務に慣れ、組合員の方々の力になれるようがんばります。よろしくお願いします。



力仕事は任せてください

【畜産酪農部 畜産課 柳澤 陽介】

はじめまして。畜産課の柳澤と申します。長野市出身です。野菜もお肉もとにかく食べることが大好きで、食に携わる仕事がしたいと思い入会しました。まだまだわからない事ばかりなので毎日勉強し、1日でも早く仕事を覚え、長野の農業発展に貢献できるよう日々努力したいと思います。よろしくお願いします。



元気に育ちますように！

A-Board

野菜花き課からのお知らせ

「第49回信州フラワーショーサマーセレクション」のご案内

全国一の生産量を誇るカーネーション・トルコギキョウ・アルストロメリアをはじめ、キク・スターチス・グラジオラス・ユリなど約500点が県内から出品され、品質や栽培技術を競います。皆様のご来場をお待ちしています。

- 開催日 平成29年7月20日(木)～21日(金)
- 一般公開 7月20日(木) 午後3時～午後6時
7月21日(金) 午前9時～午後2時
(午前11時～褒章授与式)
- 会場 JA長野県ビル「アクティーホール」
- 実施内容 (1) 品評会(切花、花木)

- (2) 展示会
 - ① フラワーアレンジメント
 - ② 種苗会社による品目・品種紹介
 - ③ 花き関連新資材・機器
- (3) 花の販売
 - ① 品評会出品展示品
一般公開時に予約販売を行います。ご予約いただいた花は、一般公開終了後の21日(金)午後2時よりお渡しします。(午後4時まで)
 - ② 信州産の花を使った花束・アレンジ等
一般公開時に花束・アレンジメント等を即売します。



昨年の様子

2017

JA農機&資材フェスタ

新時代へのチャレンジ!!

～信州農業応援プロジェクト～

7月14日(金)

AM9:00～PM4:00

7月15日(土)

AM9:00～PM3:00

どなたでも
入場無料!!

開催場所／エムウェーブ
(長野市オリンピック記念アリーナ)



最新の農業機械・中古農機から
肥料・農薬・農業関連資材まで
使って便利な品々が
「エムウェーブ」に
大集結!!

**ご成約
プレゼント!**
当日5万円以上ご成約の
お客様に記念品を進呈します。

**ご来場者
プレゼント!**
当日ご来場のお客様に
もれなく記念品をプレゼント!

●主 催 長野県農協生産資材事業推進協議会
●後 援 長野県・JA全農長野

グリーンリーダー7月号 (毎月発行) 2017年6月20日発行
発行／JA全農長野 長野市大字南長野北石堂町1177番地3 第458号
発行人／小林哲男 印刷／PO印刷株式会社 長野市青木島3丁目3番地3

信州 JA全農長野
光と風と水のハーモニー

JA全農長野ホームページ <http://www.nn.zennoh.or.jp>
インターネットで産地直送「JAタウン」 <http://www.ja-town.com>

